

芸術祭ってなんだ？

札幌の街がアートに彩られる札幌国際芸術祭(SIAF/サイアフ)。2017年の開催に向け、札幌市内各所で市民参加型のイベントなどもぞくぞく開催。だれでも気軽に楽しめるアートイベントの魅力をもporocoがチェック！

porocoがチェック！ここが見どころ

イサム・ノグチの“大地の彫刻” モエレ沼公園が大きな展示空間に

モエレ沼公園の魅力といえば、やはり“公園全体がひとつの彫刻作品”となるように考え抜かれた、イサム・ノグチの芸術的な空間。2017年の芸術祭では、公園内から打ち上げた気球によって撮影される空撮映像が配信され、公園全体の映像を見ることができる！



どんな映像が見られるかな？



2017年の芸術祭で3回実施されるパフォーマンス！



衛星技術もアートになる！

宇宙からの即興音楽&映像を楽しもう

多摩美術大学・東京大学のメンバーを軸としたARTSAT(アートサット)は、「衛星はメディアである」をモットーに宇宙の文化芸術活用を推進している。2014年に打ち上げた2機の宇宙機に続いて、今回はSIAFラボとコラボし、「Sculpture to be Seen from Space, Improvisation to be Heard from Space. 宇宙から見える彫刻 宇宙から聞こえる即興演奏」というプロジェクトを展開。どんな音楽・映像に出合えるか、ぜひモエレ沼公園で体感しよう！

1. 空から見たモエレ沼公園。公園全体が芸術作品！
2. モジュールを搭載した気球を打ち上げた公開実験の様子。
3. 世界初の芸術衛星[ARTSAT1:INVADER]のイメージ図。

来年開催！

SAPPORO INTERNATIONAL ART FESTIVAL

SIAF

札幌国際芸術祭2017

札幌国際芸術祭(SIAF/サイアフ)は、3年に一度開催されるアートの祭典。2014年の初開催から2回目となる2017年は、ゲストディレクターに大友良英さんを迎え、「芸術祭ってなんだ？」をテーマに作りあげていく。本開催に向けて、2016年度から一般の方も参加可能な様々なプログラムも展開されている。

- 開催期間 17年8月6日(日)~17年10月1日(日)
- 会場 札幌市内(札幌芸術の森・モエレ沼公園・すすきのエリア・狸小路エリア・円山エリア・札幌市資料館ほか)
- 札幌国際芸術祭事務局
- ☎ 011-211-2314
- 🌐 <http://siaf.jp>

ARTSAT×SIAFラボによる 宇宙を感じるプロジェクト



ARTSAT×SIAFラボのコラボレーションに期待！

右から、プロジェクトチームの一員である札幌大谷大学芸術学部美術学科講師・SIAFラボメンバーの小町谷圭さん、多摩美術大学教授・ARTSATリーダーの久保田晃弘さん、札幌国際芸術祭2017企画メンバー・モエレ沼公園学芸員の宮井和美さん。 ※小町谷さんが持っているものが開発中のモジュール ※ARTSATは宇宙の文化芸術を推進するプロジェクト

イサム・ノグチが抱いた宇宙規模のダイナミックな構想を現在につなぐ

モエレ沼公園を舞台に展開するARTSAT×SIAFラボによるプロジェクト「Sculpture to be Seen from Space, Improvisation to be Heard from Space. 宇宙から見える彫刻 宇宙から聞こえる即興演奏」。これは、気球に搭載した小型電子機器(モジュール)を介し、モエレ沼公園と宇宙をつなぐ新たな芸術作品への取り組み。宮井さんは、「モエレ沼公園は、イサム・ノグチが宇宙からの大きな視点で捉えた、一つの完成された彫刻作品なんです。今回は、イサム・ノグチが目指したアートを音楽や映像という手段を用いた新しい試みを通して、いろんな方に体感してもらえたらうれしいですね」と語る。

宇宙から聞こえる即興演奏で公園全体が一つの音楽空間に

プロジェクトリーダーの久保田さんは、「私たちが行なうのは、上空に打ち上げたモジュールに即興的に音楽のコードを送るテレコーディングと名付けたパフォーマンスです。打ち上げた気球が見えなくなると空から音が降って来る。その時まさに公園全体が、大きな音楽空間になるんです。気圧や風によってリズムや音色が変わり、そこに即興で応えることで、二度と作り出せないその瞬間だけの音になります。本番当日は、音と映像によって地球にいる自分たちを新たな視線で捉え直す……。そんな体験をみんな楽しんでほしいと思います」と語る。